

令和元年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）
（最終変更令和2年3月13日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
2 都市計画法の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業	5
2 前田利長墓所整備事業	6
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業	7
6 市内町家等再生事業	8
7 金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業	9
11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	10
12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	11
18 県道岡・笹川線道路整備事業	12
19 勝興寺寺内町道路修景整備事業	13
20 高岡御車山保存修理事業	14
24 菅笠保全対策事業	15
28 次世代型ものづくり人材育成事業	16
30 伝統工芸産業希少技術継承事業	17
31 次世代クリエイター工房開設支援事業	18
32 文化財等修理補助事業	19
33 菅栽培調査事業	20
34 ものづくり・デザイン科推進事業	21
35 前田家関連史跡調査事業	22
36 町並み保存・都市景観形成補助事業	23
37 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)	24
38 獅子舞大競演会開催事業	25
39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	26
40 祭行事・イベント振興事業	27
41 「高岡再発見」プログラム事業	28
42 新たな芸術・文化創造推進事業	29
43 日本遺産魅力発信推進事業	30
44 高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業	31
45 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業	32
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・研究の充実	33
2 文化財の適切な保存管理	34
3 郷土教育と人材育成の継続	35
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	36
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進	37
2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり	38
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	39

評価軸① 組織体制		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会2回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p> ■第12回高岡市歴史まちづくり協議会(令和2年2月21日開催) ・高岡市歴史まちづくり計画の変更について ・高岡市歴史まちづくり計画の進行管理・評価について ・これまでの取り組み効果と今後の課題について </p> <p> ◎第15回高岡市歴史まちづくり推進会議(令和2年2月5日開催) ・高岡市歴史まちづくり計画の変更について ・高岡市歴史まちづくり計画の進行管理・評価について ・これまでの取り組み効果と今後の課題について </p> <p> ○第23回幹事会(令和元年11月27日開催) ○第24回幹事会(令和2年1月16日開催) </p>			
		<p>第12回高岡市歴史まちづくり協議会</p> <p>第15回高岡市歴史まちづくり推進会議</p>	
歴史まちづくり計画の推進体制			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
1 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観法に基づく届出件数 平成29年度:23件 ※景観計画を変更し平成29年度から届出対象行為を拡大した。 平成30年度:26件 令和元年度:31件 届出件数が増加傾向にあり、周辺環境との調和が図られた良好な景観形成につながっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

景観形成重点地区(旧北陸街道福岡)の修景事例



修景前



修景後

当該重点地区の景観づくりの基準に基づき、屋根工事(和瓦)や大和塀設置を市の補助金を活用して実施した。

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
2 都市計画法の活用	<input type="checkbox"/> 実施済	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	
	<input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

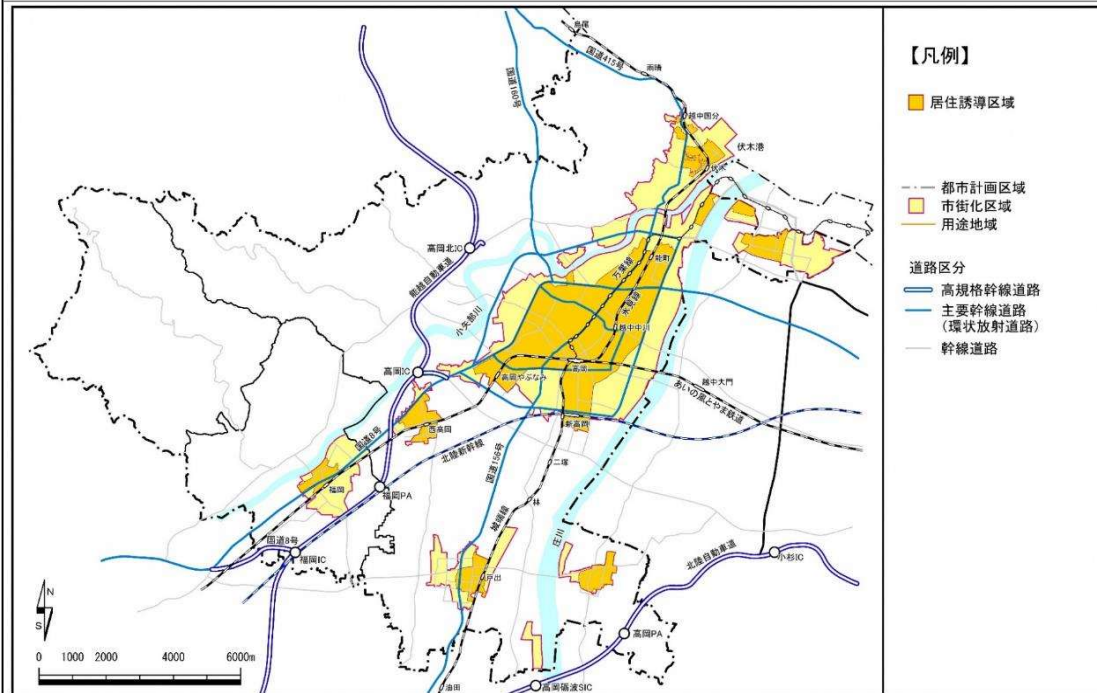
平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。
 また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定し、5路線16区間について、都市計画の廃止・変更手続きを完了した。
 平成28年度からは都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの見直しに着手し、平成30年12月に新たな都市計画マスタープランを策定した。同計画の全体構想では都市づくりの基本方針の1つに「歴史・文化を活かした都市づくり」を掲げている。また、併せて策定した高岡市立地適正化計画では居住誘導区域の設定基準の1つに歴史まちづくり計画の重点区域を採用した。

進捗状況 ※計画年次との対応

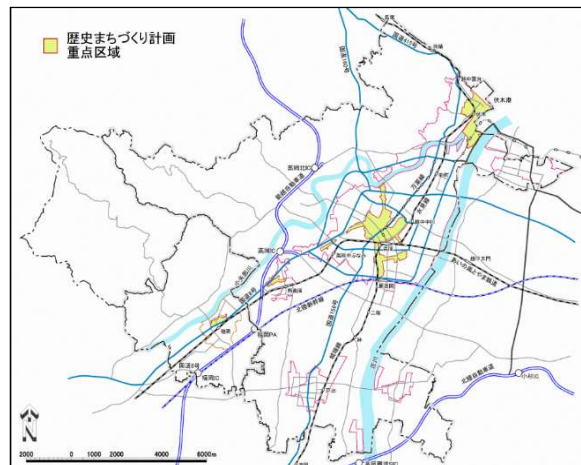
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



居住誘導区域



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-3
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
3 屋外広告物に関する規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。

- ・既存不適格是正実績(直近3年)
平成29年度:5件、平成30年度:7件、令和元年度:12件
- ・全体
是正(除却含む) 47件 / 既存不適格 96件

既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存不適格の屋外広告物の是正件数が全体の4割程度に留まっている。今後は、対象事業者に対して是正を再度依頼したり是正計画書を提出させたりする等、是正指導の強化を図りたい。

状況を示す写真や資料等

既存不適格の是正事例
(屋上広告のサイズの縮小)



是正前



是正後

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和2年度
 支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 瑞龍寺禅堂等のこけら葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度において以下の工事を実施した。
 大茶堂・高廊下:屋根工事完了
 ※現在、北回廊の素屋根組立中。今後、北回廊の既存こけら板撤去、こけら葺工事を行う予定

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

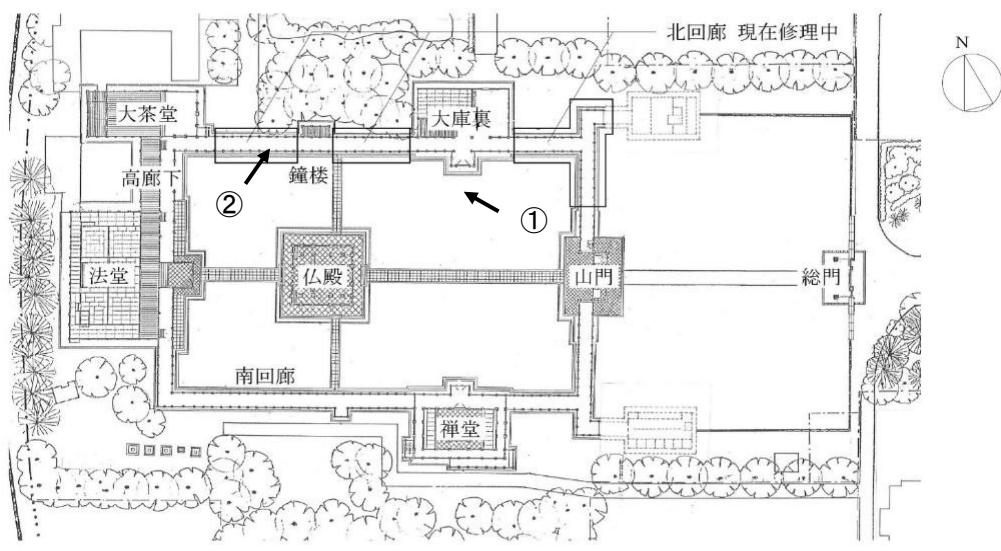
状況を示す写真や資料等



【大茶堂・高廊下】屋根工事完了
 【北回廊】素屋根組立中 ①



【北回廊】既存野地確認状況 ②



伽藍配置図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
2 前田利長墓所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、国庫補助による保存整備事業は実施していないが、富山県の森林サポーターの協力により、外区の樹木の整理を実施し、外側からの眺望景観の改善を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



森林サポーター作業風景



作業後風景(繁久寺側から御廟が顕在化)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 勝興寺大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は以下の工事を実施した。
 式台玄関、式台脇玄関、配膳室、本堂渡り廊下:修理完了
 鼓堂、経堂:修理完了
 ※現在は総門修理中。今後は引き続き、総門修理工事を行う予定

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

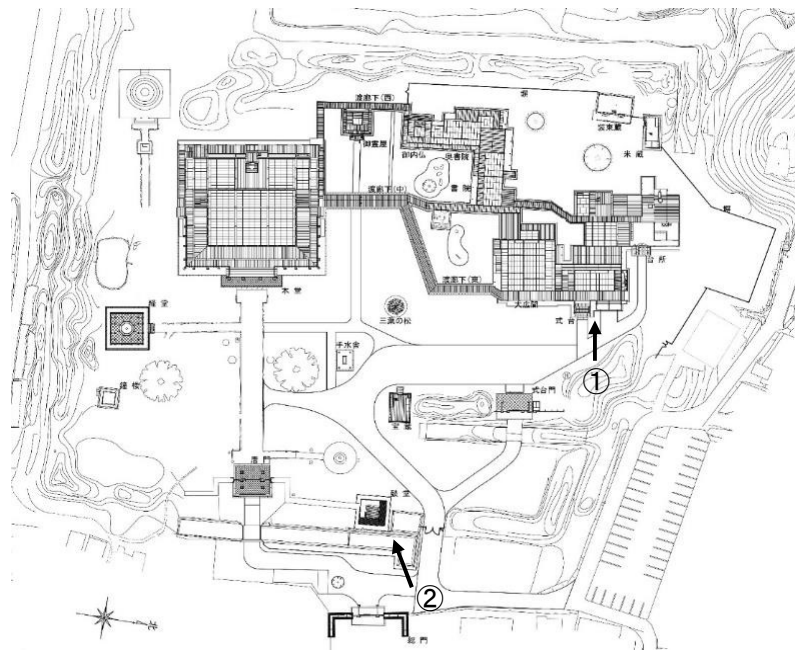
状況を示す写真や資料等



【式台玄関、式台脇玄関】修理完了 ①



【鼓堂】修理完了 ②



伽藍配置図

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
6 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
※令和元年度は補助実績なし			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
7 金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成28年度～令和2年度以降
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

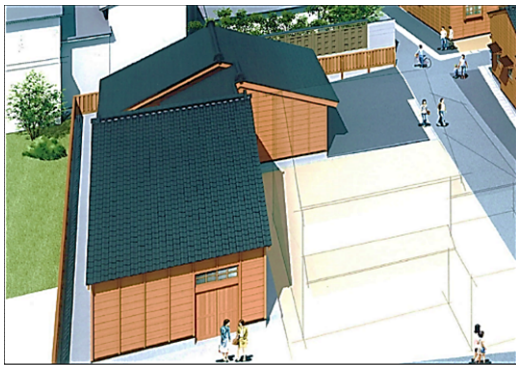
計画に記載している内容 金屋町において鋳物工房を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、全国からの若手人材の受入、育成、定着を促進することにより地場産業の振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 整備計画の策定
 平成29～30年度 建設用地取得、設計
 令和元年度～ 建設工事(研修棟)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周辺類似施設との関係性など施設のあり方の整理が課題であり、その進捗を踏まえながら整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等



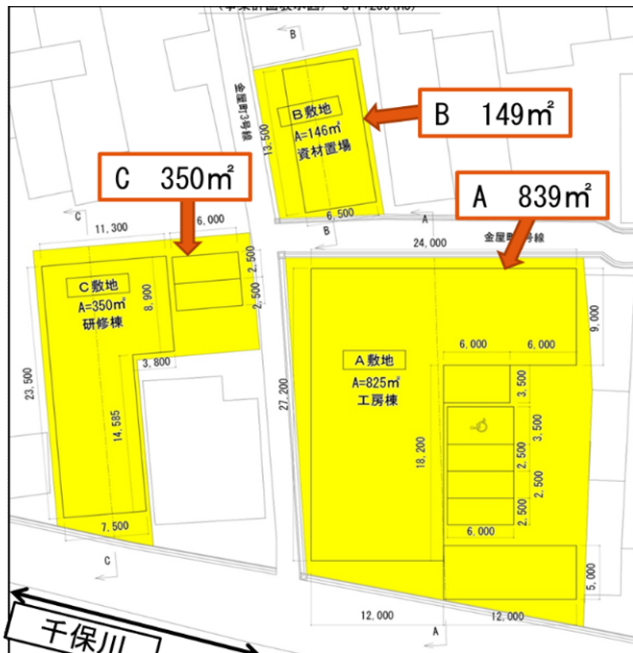
研修棟整備イメージ(下図C)



研修棟内部イメージ(下図C)



整備予定地位置



建物配置計画図

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成13年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容	山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度事業内容
 伝統的建造物の修理 主屋1件修理中、土蔵1件完了
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【堀井家住宅土蔵】修理前



【堀井家住宅土蔵】修理後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度事業内容 伝統的建造物の修理 主屋1件、倉庫1件 非伝統的建造物の修景 作業場修景1件 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【金森家住宅主屋】修理前



【金森家住宅主屋】修理後

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
18 県道岡・笹川線道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設などの修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・関係機関との協議・調整を行いながら、全長880mの修景整備を実施するものである。

・定性的評価(実施内容)
 平成29年度 中央線測量設計業務委託を実施
 平成30年度 関係機関との協議・調整を実施
 令和元年度 市が電柱のカラーポール化(修景化)を実施(N=6箇所)
 県が側溝改修工事と消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)を実施

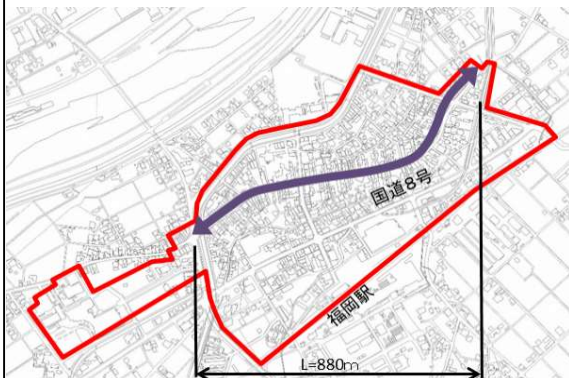
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

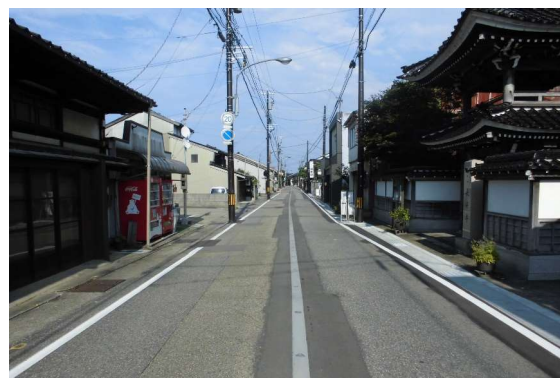
状況を示す写真や資料等



旧北陸街道福岡地区の町並み



事業箇所図



工事後(電柱、側溝、消雪管)の状況

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
19 勝興寺寺内町道路修景整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を勝興寺の改修に併せて行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度:基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。 ・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催) 平成30年度:実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。 令和元年度: ・修景整備内容について住民説明会を開催(令和元年7月18日開催) ・電柱移設(カラーポール化)5本(実施中) ・照明設置(電柱共架)5基(実施中) ・第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン方針決定 — 令和元年8月28日開催) ・第2回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン決定 — 令和2年1月30日開催)			
進捗状況	※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



旧参道の現況



第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
20 高岡御車山保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成17年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容	重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度
 ①木舟町御車山車輪及び車軸の修理
 構造部材の劣化を受け、奉曳の安全を確保する上で必要な修理を行った。
 ②御馬出町御車山松の鉢の復原新調
 長年の使用により木部の破損や彩色の剥落が見られるため新調を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【木舟町】車輪中間検査



【御馬出町】松の鉢現物確認(修理委員会)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
24 菅笠保全対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業 国宝重要文化財等保存・活用事業(H30～R2)
計画に記載している内容	重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査、新商品の開発(平成25～29年度)を行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績

- ・菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施)
- ・菅笠展示・実演 3回(イベントでの周知普及の実施及び団体への支援)
- ・菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び団体への支援)
- ・菅田保全のための調査 2回(菅田の現況把握等)
- ・ブランド化等事業(新しい菅笠の提案等実施団体への支援)

主要活動実績

No.	活動内容	H30		R1		実施団体	備考
		回数	参加者数	回数	参加者数		
1	菅笠講座(笠骨)	20回	4名	20回	6名	H30-R1:高岡市	
2	菅笠講座(笠縫)	20回	16名	20回	16名	H30-R1:高岡市	
3	体験講座等	5回	124名	4回	130名	H30-R1:高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会	

上記支援や活動を通して、越中福岡の菅笠製作技術の周知や、後継者育成を図ることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題) ・高齢化による技術保持者の減少 (対応策) ・後継者育成講座の充実

状況を示す写真や資料等



後継者育成(笠縫・笠骨講座)



後継者育成(職人育成)



菅笠づくり実演・体験講座等



菅田調査

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

28 次世代型ものづくり人材育成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 昭和43年度～基礎・研究コース、平成12年度～造形コース、平成26年度～3D造形コース、平成30年度～精密
 鑄造コース

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鑄造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は全9コースにおいて計53名の受講生13名が講師・助手による指導のもと技術習得に励んだ。昭和43年から実施しており、平成29年度末に50周年を迎えた。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施している。

<内容>

【木曜夜間 午後6～9時】 ・金工:彫金基礎 ・彫金研究コース(年24回) ・精密鑄造コース(年10回)
 ・漆工:塗り ・加飾コース(年26回) ・3D:3D造形コース(年10回)※平成26年度から実施

【第2・4土曜 午後1～5時】 ・金工:鑄造基礎コース(年5回) ・鑄造研究コース(年11回) ・漆工:きゆう漆コース(年16回)
 ※平成12年度から実施

<実績> 受講生 計53名:令和元(平成31)年度(第26期後期)

- ・金工:彫金基礎コース 6名
- ・彫金研究コース 5名
- ・精密鑄造コース 5名
- ・漆工:塗りコース 7名
- ・加飾コース 3名
- ・3D:3D造形コース 5名
- ・金工:鑄造基礎コース 10名
- ・鑄造研究コース 5名
- ・漆工:きゆう漆コース 6名

<成果>

- (1) 修了生一延べ 1075名(昭和43年～平成30年度末)
- (2) 伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者を多数輩出している。第一期生には人間国宝 大澤光民氏が修了している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

金工



彫金基礎コース



彫金研究コース



精密鑄造コース



鑄造基礎・研究コース

漆工



塗りコース



加飾コース



きゆう漆コース

3D



3D造形コース

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
30 伝統工芸産業希少技術継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から、旧「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。 より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すことで、伝統工芸産業の活性化を図る。			
・平成30年度実績<育成者> 中村 喜久雄 <継承者> 上田 剛 【部門】銅器 焼型(平成29年度から継続) ・令和元年度実績:なし ・効果 平成24～30年度の間に、12組の技術継承を支援し、希少な技術が継承された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
31 次世代クリエイター工房開設支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場等を活用して開設する工房(作業場)に対し改修費等を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者への支援として、工芸家、工業デザイナー等による市内での新たな工房(作業場)の開設に伴う賃借料(月額上限3万円、最長2年)、取得費(上限60万円)、改修・改装費(上限45万円)、設備機器費(上限15万円)のそれぞれ2分の1以内について補助金を交付する。 ●令和元年度支援実績:1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和元年度は1件の活用実績があった。、引き続き、活用を検討している事業者に対し周知を行い支援してまいりたい。		

状況を示す写真や資料等



工房開設前写真①



工房開設前写真②



工房開設後写真



追加防音扉工事写真

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
32 文化財等修理補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成20年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 高岡地域文化財等修理協会に補助し、高岡の工芸技術の保存継承を図るもの。
また、文化財修理技術の向上や修理に関する資料データの作成等を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・文化財等修理産業創出事業における販路開拓事業として県外へのPRや、人材育成事業として類似事業取組み都市への視察、技術継承のための技術研修会を実施。
- ・高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



車輪の漆工修理作業の様子



研修会(大津市)の様子

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
33 菅栽培調査事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	菅田の栽培に関する肥料対策、病害虫対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
例年、高岡市福岡町本領地内で菅の試験栽培を継続していたが、近隣水田の除草剤が流れ込むためか、菅の生育・品質が悪く、夏の刈取り後、植付け場所を変更した。(変更先は福岡町舞谷地内)。植付け後、数カ月経過しているが、生育は順調である。 この結果から、周囲に多くの水田がある平野部の農地で菅を栽培するのは不適であり、用水から除草剤等の混入が少ない、山間集落や麓集落における栽培が適しているとみられる。 昨年度発生した新種の病原菌については、発生が見られず、県からは新たに発生するような状態になれば更なる対応をすると回答を受けている。 今年度の新たな取組として、長年の試験栽培によって得られた経験や菅栽培に精通している方からの意見も伺いながらマニュアルを作成している。来年度よりそのマニュアルに沿った栽培を行うことで誰でも良質な菅を栽培できるよう目指していく。また、昨年度から日干し後の菅を結束する作業を機械化するために結束機の設計を進めていたが、現在、機械を発注する段階にある。来年度導入し、どれだけ効率が良くなるか検証する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・機械化による作業工程の効率化 ・田畑がある場所での良質な菅栽培		
状況を示す写真や資料等			
			
苗づくり(肥料散布後)		菅田管理(水管理)	
			
菅田管理(水管理・除草後)		刈取り作業	

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
----	-------

34 ものづくり・デザイン科推進事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。市内小・中・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、年間35時間の授業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。

令和元年度は、青貝塗りのループタイや彫刻塗りのオルゴール、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組んだ。

【定量的評価】

○「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡のよさを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合

約90.9%(3,557人/3,912人)(R元年度)

○「歴史の香る街並みや建造物を見学したり、御車山祭りをはじめとする地域の祭りなどに参加している児童生徒の割合

約63.5%(2,485人/3,912人)(R元年度)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

学校名	小学校	
学年	5年	6年
タイトル	曲がる錫の小物	青貝塗りの置時計
写真(活動)		
写真(作品)		

小学校の取り組み例



児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例

学校名	中学校	
学年	1年	
タイトル	鑄造による錫の小物	
写真		

中学校の取り組み例

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
35 前田家関連史跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成20年度～令和2年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成20年度から着手し平成24年度で終了した高岡城跡詳細調査の成果を公開し、高岡城跡に対する関心と理解を高めるため高岡城跡シンポジウムを開催する。守山城跡の詳細調査を開始し、遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度: 守山城跡詳細調査(遺構確認調査)
 遺構確認調査によって未踏査部分の踏査を実施した。守山城跡の石垣の図面の作成に着手した。文献史料調査を実施しているが、守山城跡の新たな絵図等の発見には至っていない。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 なお、高岡城跡詳細調査は平成24年度で終了し、平成25年度に調査の成果を公開する高岡城跡シンポジウムを開催した。

状況を示す写真や資料等

守山城跡詳細調査 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)



遺構確認調査(未踏査部分の調査)



石垣調査

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
36 町並み保存・都市景観形成補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。
 平成29年度:修景補助5件
 平成30年度:修景補助1件
 令和元年度:修景補助3件
 継続的な修景事業の実施により、周辺環境との調和が図られ、良好な景観形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

景観協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例



修景前



修景後

当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の新築工事に対し助成を行った。

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
37 ミラレ金屋町開催事業(旧金屋町楽市開催事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成20年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	高岡鋳物発祥の地であり、伝統的な町並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」や、後続事業で、町家暮らしや伝統文化を体験する「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町民文化」の魅力を広く発信した。昨年度に引き続き、工芸都市高岡クラフトコンペティション、高岡クラフト市場街などと連携を図り、同時期に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しむ機会を提供した。

- ・開催日 令和元年9月21日～22日
- ・来場者数 23,800人
- ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売
町並みのライトアップ
鋳物、ガラス等のワークショップ
空き家ツアー・ガイドツアー
きもの通りファッションショー 他

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



クラフトイベント合同チラシ
(ミラレの開催期間は21日・22日のみ)



きもの通りファッションショーの様子



工芸品展示・販売の様子

評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
38 獅子舞大競演会開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心商店街を訪れており、春の一大イベントとして開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらう機会をつくることで継承につながった。高岡市だけでなく県内の特色のある獅子を招聘し開催した。令和元年度は6団体の獅子舞団体を市内外から招き、以下の日程で獅子舞大競演会を開催した。 (開催日)令和元年5月3日 (来場者数)21,000人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



末広町会場



@パーク会場



ウイングウイング会場

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。

令和元年度は以下のイベントを行った。

- ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(令和元年8月24日、25日開催)
土蔵造りの建物での講演会とプロジェクションマッピング、クラシックカーギャラリーなど
- ②山町筋の天神様祭(令和2年1月18日、19日開催)
山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など
- ③山町筋のひなまつり(令和2年3月14日、15日開催)
山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
40 祭り行事・イベント振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	毎年
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は以下の祭り行事・イベントへの補助を行った。
 高岡御車山祭(令和元年5月1日開催)
 伏木曳山祭(令和元年5月15日開催)
 二上射水神社築山行事(令和元年4月23日開催)
 八丁道おもしろ市(令和元年5月19日、10月20日開催)
 御印祭(令和元年6月19日、20日開催)
 高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、それらの継承や担い手の育成につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高岡御車山祭



伏木曳山祭(けんか山)



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
41 「高岡再発見」プログラム事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 高岡市内の小学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・今年度は、「日本遺産コース」に特化した2つのコースを設定した。1つは、伏木港開港120周年と節目を迎えることから、みなと振興課と連携し「北前船コース」を設けた。2つめは、「町民文化コース」を設けた。児童の「日本遺産」への意識を高めるとともに今後もより多くの児童が高岡の歴史文化の魅力を感じてもらいたいと考えている。また、伏木港開港120周年を機に「伏木神社」や「けんか山展示コーナー」(伏木コミュニティセンター)「伏木港まつり」等、スタンプ設置場所を増やし参加意欲につなげていきたい。
 ・今年度からスタンプカードに「体験コーナー」を明記し、できるだけ館内に足を運び、体験を通して高岡の魅力やよさを実感してほしいと考える。(高岡市立博物館・高岡御車山会館・鑄物資料館・埋蔵文化財センター)3つのコースに分けて認定を行う。
 ・歴史の薫る町並みや建造物28カ所のスタンプと高岡市ならではの祭り(8つ)の内、2カ所をレポートにまとめ、合計30のスタンプをカードに収集する。30のスタンプの内、15カ所分のスタンプを収集すると認定バッジを授与する。
 北前船コースを訪れた児童は、1,279人(市内1～4年児童全体の26.1%)
 町民文化コースを訪れた児童は、1,124人(市内1～4年児童全体の22.9%)
 再発見スペシャルコース(30ポイントを収集した児童)は924人(市内1～4年児童全体の18.8%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー配布用カード



スタンプラリー実施要領

評価軸③-25 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

42 新たな芸術・文化創造推進事業

実施済
 実施中
 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業
地方創生推進交付金

計画に記載している内容 文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民一人ひとりが高岡の文化を知り、文化に親しむ機会を創出したことにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信に繋がった。

【実施内容】
 ・文化創造都市高岡ウェブサイトの運営
 高岡市の歴史・文化に関する情報発信。PV数29,979
 ・高岡クラフト市場街
 歴史的な街並みを舞台に展示・体験・食・音楽イベントを楽しめるクラフトに関する総合イベントを開催。来場者数24,300人。
 ・クリエイター向け情報発信事業
 首都圏のクリエイティブ・クラスターを対象に、本市の歴史や文化の魅力を発信するPRイベント等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「Art&Craft City高岡」を表現した事業の実施
(クラフト市場街との連携)






有識者を交えた事業内容の検討
(アート&クラフトシティ高岡推進委員会の様子)



文化創造都市に関する情報発信
(ウェブサイト運営)



高岡市の認知度向上・ブランド形成に向けたPR
(クラフト市場街・ミラレ金屋町・クラフト展と連携した取り組み)

評価軸③-26 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
43 日本遺産魅力発信推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の日本遺産のストーリー（「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-」及び「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」）を通して歴史的的魅力に溢れた文化財群を総合的に整備、活用し、国内外に情報発信や普及啓発を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年10月、「日本遺産サミットin高知」に参加し、来場者1万人にPRするとともに、日本遺産の課題等について他自治体職員と情報交換を行った。さらに、大阪で開かれたツーリズムエキスポに文化庁と連携して出展し、海外の方を含む来場者15万人（ブース来訪者800組）へ高岡の日本遺産のストーリーをPRした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
日本遺産サミットin高知でのPR		日本遺産サミットin高知での文化庁職員、自治体職員との情報交換	
			
ツーリズムエキスポin大阪でのPR			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況

44 高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業

■実施済
□実施中
□未着手

事業期間 平成29年度～令和元年度

支援事業名 文化芸術振興費補助金(観光拠点形成重点支援事業)

計画に記載している内容 高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業として、情報発信事業、普及啓発事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

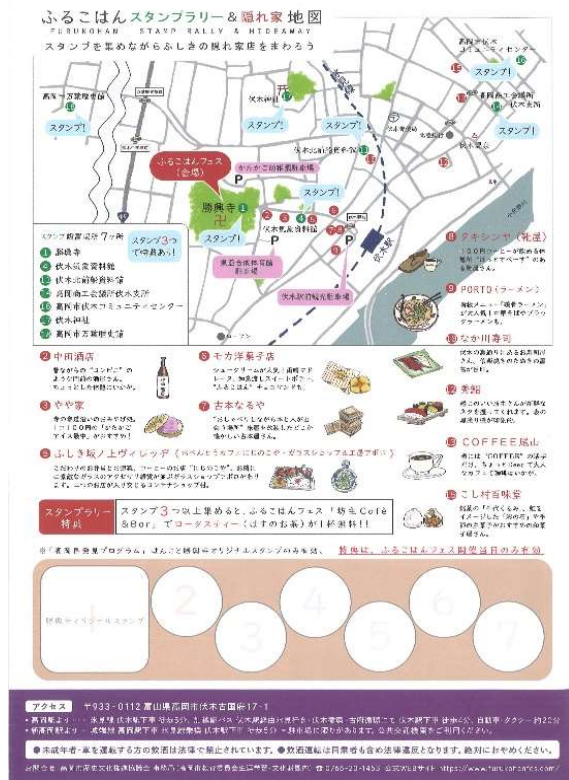
・昨年に引き続き開催した「ふるこはんフェス」では、まちなかスタンプラリーやアート華葩造りワークショップなど新たなコンテンツを加えながら、規模も拡大して開催した結果、多くの来場者で賑わい、何より地元住民にも多く足を運んでいただける内容になった。
【来場者数】3,500人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



告知チラシ&スタンプラリー



アート華葩造りワークショップ



坊主Cafe & Bar

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
45 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 ユネスコの無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小・中・特別支援学校の児童生徒が、壁新聞、俳句、短歌を作成する活動を通じ、高岡の歴史文化の魅力を再発見し、豊かな感性と郷土愛を育むことにつながった。
 【定量的評価】校内選考を通過した優秀作品数として、壁新聞の応募件数:59点 俳句の応募件数:150点 短歌の応募件数:85点 表彰数は、最優秀賞:各1点、優秀賞:各2点、佳作:各6点

進捗状況 ※計画年次との対応

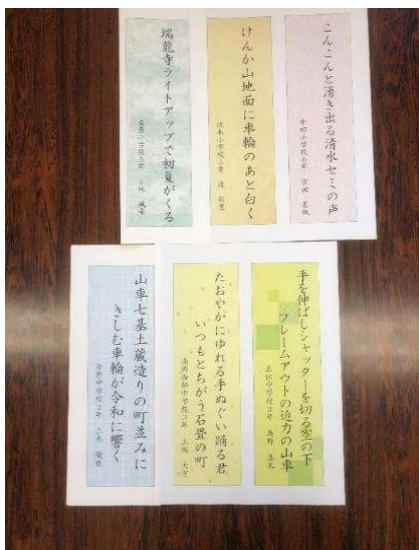
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



表彰式



俳句・短歌



壁新聞

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
1 文化財の調査・研究の充実		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、文化財の調査・研究として以下の事業を実施した。
 ・前田家関連史跡調査事業
 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、文献史料調査、石垣の事前調査)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



遺構確認調査(未踏査部分の調査)



石垣の事前調査

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
3 郷土教育と人材育成の継続	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。
 学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

- ・菅笠保全対策事業(P15参照)
 菅笠製作技術後継者の育成等
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P16参照)
 高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・文化財等修理補助事業(P19参照)
- ・菅栽培調査事業(P20参照)
 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅栽培マニュアルの作成等
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P21参照)
 青貝塗りの置時計、錫の小物等の制作授業を実施
- ・ミラレ金屋町(旧金屋町楽市)開催事業、獅子舞大競演会開催事業、土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P24～26参照)
 イベント助成事業を実施
- ・祭行事・イベント振興事業(P27参照)
 二上射水神社築山神事、御印祭ほか

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



菅笠製作技術後継者の育成



ミラレ金屋町(ワークショップ)



次世代型ものづくり人材育成

評価軸⑤
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和元年度
高岡・吉久の伝統的家屋 さまのこ 細かさの美	H31.4.14	北陸中日新聞
守山町山車 輝き再び 車輪・車軸の修理完了	R1.5.21	北日本新聞
菅笠の魅力 若者に発信 福岡の振興会が通販サイト	R1.5.27	北日本新聞
魅力生かすまちづくりを 高岡・勝興寺で町並み塾	R1.6.2	富山新聞
重伝建目指しまちづくり会議 高岡・吉久の町家	R1.6.17	富山新聞
鋳物師の心意気伝え 姉妹都市の米生徒参加	R1.6.20	富山新聞
伏木港120周年シンポ	R1.7.16	富山新聞
利長の築城指示書発見	R1.7.24	北日本新聞
高岡城に「東の丸」 前田利長の書状に記述確認	R1.7.26	富山新聞
本堂の渡り廊下復元 高岡・勝興寺、平成の大修理大詰め	R1.8.10	北日本新聞
羽田で高岡の伝統発信	R1.8.16	富山新聞
スゲに新用途 敷物に加工	R1.8.17	北日本新聞
”幻の高岡城”完成 写真3600枚モザイクアート	R1.9.10	北日本新聞
鋳物づくり楽しんで 高岡産学官プロジェクトが始動	R1.10.22	北日本新聞
高岡漆器の蝶ネクタイ東京五輪公式商品化	R1.11.9	北日本新聞
高岡御旅屋1623年以前に創建か	R1.12.17	北陸中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。
また、高岡漆器の蝶ネクタイが東京五輪・パラリンピックの公式ライセンス商品に採用されたほか、菅笠製作技術後継者育成講座の修了生が会社を設立し、スゲを使った大型の敷物を製作して商品化を検討するなど伝統工芸技術の評価や後継者育成に繋がっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



北日本新聞 令和元年11月9日付



北日本新聞 令和元年8月17日付

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目

1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進

計画に記載している内容 平成27年3月の北陸新幹線開業の機会を活かし、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新高岡駅からJR高岡駅を経由し金屋町までの範囲、及び伏木地区を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。

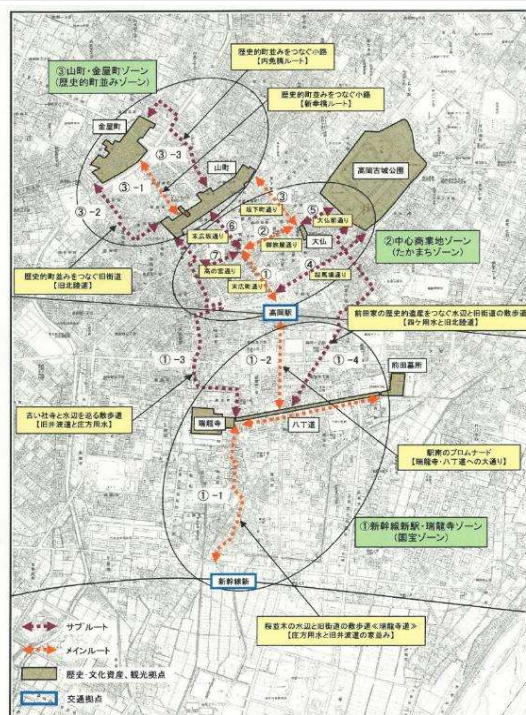
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

たかおかストリート構想に基づき、エリア内の歩行者案内用矢羽根サインの整備を進めているところである。また、伏木地区についても、平成28年2月に策定した伏木地区ストリート構想に基づき、歩行者案内用拠点サインの整備(平成29年度に完了)や勝興寺寺内町の道路修景整備事業(P13参照)に取り組んでいる。

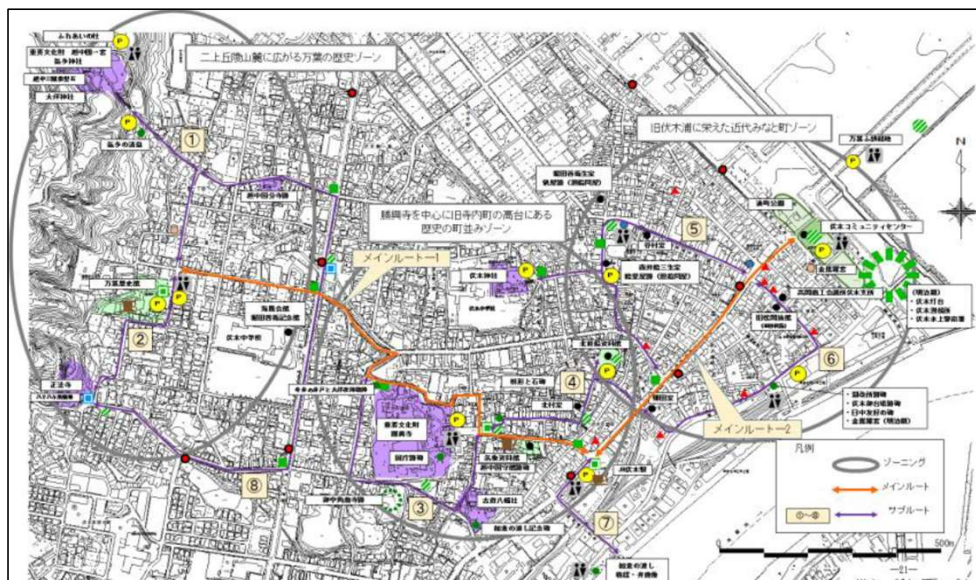
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし



たかおかストリート構想 ルート図



伏木地区ストリート構想 ルート図

評価対象年度	令和元年度
--------	-------

項目

2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり

計画に記載している内容 文化財の保存・活用において、今後市民と行政の連携体制の整備や活動支援の充実を図っていく必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史まちづくり計画に基づき、事業を進めてきたことにより、徐々に市民の歴史に対する認識も深まってきているほか、歴史まちづくりに関連する活動に広がりが出てきている。

- ・平成26年6月には、山町筋と金屋町の2つの伝建地区を結ぶ沿線における道路の修景整備を契機とし、観光客が散策を楽しめる地域づくりを目的とした川原本町周辺街づくり協議会が設立された。
- ・平成26年9月には、重要文化財勝興寺に通じる参道として風情漂う落ち着いたまにふさわしい景観づくりを進めることを目的とした、勝興寺寺内町通り景観協定が締結された。
- ・平成27年4月には、袋町と平米町の2町で旧町名が復活し、獅子舞が10年ぶりに復活するなど地域コミュニティの結束が強まった。
- ・平成28年4月には、西海老坂地区で、江戸時代から口伝で受け継がれてきた伝統を絶やさないう、獅子舞保存会が立ち上げられ、22年ぶりに獅子舞が復活した。
- ・平成28年5月には、吉久まちづくり協議会で、将来的な重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、景観まちづくり表彰や様々なイベントを実施する「継承部会」のほか、教養講座や街歩きを行う「町育部会」などが立ち上げられ、活動が行われている。
- ・平成28年9月には、国宝瑞龍寺において「ものづくり」などの高岡の歴史や文化をベースに観光振興へ向けた人づくりを目的とした熱中寺子屋が開校し、様々な分野の人たちが集まり、刺激しあう場所ができ、以降、継続的に取り組みが続けられている。
- ・平成28年には、地元の映画制作会社や実行委員会により、金屋町が舞台で鋳物師を主人公にした映画「デンサン」の撮影が行われ、平成29年に試写会が行われた。
- ・平成29年4月には、歴史的資産を活用した町家再生事業において、伝統的建造物を商業施設として改修した「山町ヴァレー」がオープンした。管理運営は若手事業主らでつくる(株)町衆高岡が担っている。
- ・平成30年5月には、金屋町において空き家だった町家を移住体験施設として改修した「さまのこハウス」がオープンした。管理運営は地元住民らでつくるNPO法人「金屋町元気プロジェクト」が担っている。また、同NPO法人の誘致活動により平成31年1月には金屋町に空き家を活用した飲食店が2店オープンした。
- ・令和元年度には開港120周年を迎えた伏木地区において地元関係者を中心に構成する伏木観光マップ作成協議会が立ち上げられ、重要文化財勝興寺などの歴史的資産や伏木曳山祭(けんか山)などの祭礼行事をはじめ、同地区の魅力ある観光地・飲食店・宿泊施設などを案内するまち歩きマップの作成に取り組んだ。

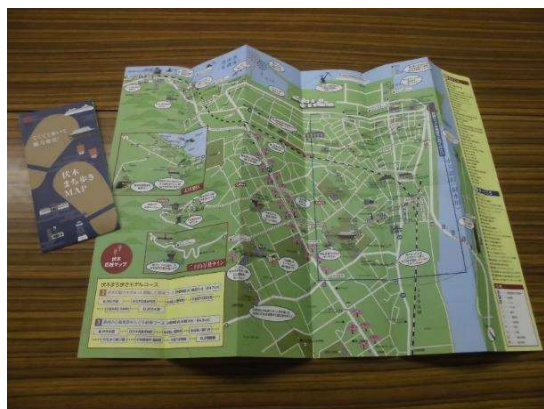
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



伏木観光マップ作成協議会



伏木まち歩きマップ

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:第12回高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:令和2年2月21日(金) 午後2時～	
(コメントの概要)	
<p>1 歴史まちづくり計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財等修理補助事業について漆木の生育が悪くなった原因や次に植樹するときにはどうするのかを明記したほうが良い。 	
<p>2 進行管理・評価シートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業について研修棟の外観や屋内のイメージ図だけでは何の研修を実施するのか分からない。また、市民の夢が膨らむ絵が必要ではないか。 ・日本遺産魅力発信推進事業についてプロモーション活動以外にも取り組み実績があるのではないか。 	
<p>3 これまでの課題と取り組み成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省が「越中福岡の菅笠」を国の伝統的工芸品に指定するということは生業として再生しなさいということである。厳しい課題ではあるが、伝統産業である以上、現代社会に対応した生業再生を課題として受け止めなければならない。 ・近年はものづくりの工程を見せる産業観光が盛んである。伝統産業を軸としている高岡では漆工、金工だけではなく鋳物などの製作過程を見せると良い。このことによって県外からも曳山などの修理が依頼されるようになると思う。また、文化財や歴史的建造物の修理過程も観光客や地域住民に公開することで建造物や地域を大切にしている姿勢を見せることも大事である。 ・山町筋の裏通りにも歴史的建造物が存在しているが重伝建地区ではないため取り壊される傾向にある。山町筋に限らず金屋町や伏木、吉久、福岡などの裏通りの中でも質の高い建造物や工作物は調査して登録有形文化財の候補としてほしい。 ・富山大学芸術文化学部ではこれまでに山町筋や金屋町の様々な取組みに携わってきた。歴史を活かした地域づくりや伝統工芸などの今後の課題については大学に在籍している多様な先生や学生をどんどん活用してほしい。 ・歴史都市の多くは総合博物館あるいは歴史博物館を設置している。高岡市にも博物館はあるが古い。歴史まちづくりの核になる史料を保存・公開する施設はどうしても必要だと思う。市で整備できないのなら県の施設を誘致することが考えられる。 ・伝建地区と非伝建地区の格差が年々拡大していると感じる。来訪者は伝建地区を出た瞬間に落胆するので伝建地区だけが浮き上がらないように、きめ細かな対応を検討してほしい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・鋳物師町工房のイメージ図は夢のある絵を載せるべきであるため工夫していきたい。 ・日本遺産魅力発信推進事業については教育委員会や地元住民と連携して取り組んできた。今後も様々な主体と連携して歴史的資産を繋ぐことを進めていきたい。 ・重伝建地区以外における町並み保存の取り組みとしては市景観条例による景観形成の取り組みがある。金沢市の先進的な取り組みについても勉強しており、今後については頂いたご意見を参考に考えていきたい。 ・今後は大規模な文化財に隠れていた未指定の文化財や良質な住宅建築の保存と活用を図っていきたい。 	